

自然保護寄附講座

専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JZ001	自然保護論	1	1.0	1 - 5	春B	木1,2	人社B218	吉田 正人	自然保護の歴史と理念、生物種の保護、生態系の管理、保護地域の設定	教室:人社B218 01AH409, 0A0A002と同一。 要望があれば英語で授業
02JZ002	地球環境論	1	1.0	1 - 5	秋A	金3,4	人社B216	角替 敏昭, 田中博, 八木 勇治, 鎌田 祥仁	地球の歴史と環境保全、生命維持の基礎となる地球環境の保全	教室:人社B216 0A0A003と同一。 要望があれば英語で授業
02JZ003	保護地域管理論	1	1.0	1 - 5	秋AB	集中	人社B216	武 正憲	保護地域の計画・管理の概念と展開について概説する。特に米国に誕生した国立公園が世界に広まり、多様化する過程で生じた様々な課題について論じる。また、保護地域管理カテゴリや、世界保護地域データベース(WDPA)の課題についてもふれる。	2020年度入学者は0A0A004で履修登録し、2019年度以前入学者は02JZ003で履修登録すること。 0A0A004と同一。 要望があれば英語で授業
02JZ004	景観・緑地保全論	1	1.0	1 - 5	秋ABC	随時		伊藤 弘, 黒田 乃生	自然環境やさらには住環境の基盤である緑地と、それらを視覚的に捉えた結果である景観の保全について、その意味するところと保全に対する考え方や手法を、事例を踏まえて概説する。また、実際に保全活動が行われている現場にてその実態を見学する。	教室:人社B216他 0A0A005と同一。 対面
02JZ006	生物多様性論	1	1.0	1 - 5	秋AB	随時		佐伯 いく代	生物多様性の概念とその保全手法について、理論と実践の双方から理解を深めることを目標とします。具体的には、(1)生物多様性の概念や現状について理解すること、(2)生物多様性の基礎的な調査・解析方法について理解すること、(3)自然と調和した社会を築いていくために必要な事項を学び、自分なりの意見を持つこと、を目標とします。文系、理系問わず、いろいろな専門分野からの学生の履修を歓迎します。	教室:人社B216 0A0A007と同一。 その他の実施形態
02JZ007	Wildlife Management	1	1.0	1 - 5	秋AB	火4	人社B217	庄子 晶子	Wildlife management encompasses the conservation of threatened species, control of unwanted species, and sustainable harvest of resource species. We shall study principles and techniques of managing wild animals by exploring the ecological processes affecting wildlife and discussing challenges in the human-nature interface.	0A0A008と同一。 英語で授業。 その他の実施形態 総合研究棟A205
02JZ008	モニタリング調査技術	1	1.0	1 - 5	秋C	集中		角谷 拓	モニタリングの意義、モニタリング調査の立案と実行、フィールド調査技術、データ解析。環境や生態系などの実態を把握する上で、モニタリングを以下に進めていくことが重要となる。本講義では、モニタリング調査の具体的な事例を挙げると共に、計画の立案からデータ解析に至るまでの流れを内容に盛り込む。	教室:人社B216 0A0A009と同一。
02JZ012	International Conventions for Heritage Conservation(国際条約論)	4	1.0	1・2	春ABC	集中		吉田 正人, 飯田 義彦, 池田 真利子	Through an extensive lecture, which will tackle environment, heritage conservation and development, with case studies from various countries and regions around the world, we shall learn how we continue to live with heritage, how at times we need to fight for conservation and to respect sustainable livelihoods in the rapidly changing world.	外部講師/ 堀江正彦氏・香坂玲氏 01AH412, 01EC552と同一。 英語で授業。
02JZ013	Role of International Organizations and NGOs	4	1.0	1・2	秋C	水5,6		池田 真利子, 吉田 正人, 飯田 義彦	Students of Master and Doctoral degree programs will learn, how heritage and identity-related in the modern "global world", by knowing the recent national, regional, and local context, not only in Western European countries (such as Germany or Italy) but also in Eastern European countries (such as in former Eastern Germany) as well as in the global South (such as India). In the field of heritage preservation, practices rooted in civic engagement had much dedicated due to specific regional and political contexts, especially since the 1980s. Although, pragmatic academic discourses tend to ignore the national or regional context and conflicts emerged along with "Heritization(遺産化, isan-ka)" or "Institutionalisation(組織化, soshiki-ka)". This lecture will be assisted by Prof. Dr. Leo Schmidt, who has over thirty years developed the discipline of heritage studies base on practical, theoretical as well as academic views, to extend the further academic discussions online.	01EC548と同一。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型) 対面 Christinevon Weizsaecker 01EC548・02ZY131と同一

02JZ014	International Cooperation for Environment	4	1.0	1・2	春ABC	集中		飯田 義彦, 吉田 正人, 池田 真利子	世界文化遺産・世界自然遺産に関わる国際協力の事例をもとに、文化遺産・自然遺産の保全に関わる国際的枠組みの成果と課題を学ぶ、合わせて、日本の国際協力に関する枠組みについても取り上げる。	01EC549と同一。英語で授業。David Sheppard 01EC549・02ZY132と同一
02JZ015	Citizens' Participation for Environment	4	1.0	1・2	秋AB	火5		池田 真利子	In this lecture, participants will develop their own opinions about what kind of civil participation for World Heritage could be realised and in which way by exploring civil engagement and participation for the preservation of cultural heritage other than the UNESCO World Heritage, and by understanding the upcoming heritage policies (inc. cultural and economic policy and urban regime) in the EU countries.	01EC550と同一。英語で授業。オンライン(同時双方向型) 対面
02JZ016	Environment and Sustainability	4	1.0	1・2	秋ABC	集中	人社 B216	飯田 義彦, 吉田 正人	持続可能性概念について様々な保全制度と地域実践事例から学ぶ。自然と文化の遺産管理において、持続可能性概念や国連の持続可能な開発目標(SDGs)をいかに結びつけて社会実装を進めるか。その上で、持続可能な社会づくりに向けたグローバルとローカルの協働のあり方と将来方策についての自身の考えを深める。	OATV205と同一。01EC551と同一。英語で授業。
02JZ017	自然保護行政論	1	1.0	1-5	秋C	集中		吉田 正人, 渡邊 綱男, 杉原 薫	自然保護行政に係る環境省自然保護局等の関係者による講義	01AH411, 0A0A010と同一。渡邊綱男 前自然環境局長
02JZ018	自然保護法制度	1	1.0	1-5	秋C	集中		吉田 正人, 杉原 薫	環境基本法、生物多様性基本法、自然環境保全法、自然公園法、文化財保護法、種の保存法等の理解	教室:人社B216 0A0A011と同一。
02JZ019	環境影響評価	1	1.0	1-5	秋B	集中		吉田 正人, 杉原 薫	環境影響評価制度実務者による講義、環境影響評価、戦略的環境影響評価(SEA)、生物多様性オフセット	教室:人社B216 0A0A012と同一。
02JZ020	生態系の保全と復元	1	1.0	1-5	秋A	集中		佐伯 いく代	森林、湿地、里山、海洋など様々な生態系の保全と復元について、最前線で活躍されている研究者の方々のお話をうかがうことにより、こうした自然を守り、持続的に利用していくための理念と実践例について学ぶことを目的とする。キーワード:自然保護、生物多様性、モニタリング、生態系サービス、気候変動、ほか	2020年度入学者は0A0A013で履修登録し、2019年度以前入学者は02JZ020で履修登録すること。0A0A013と同一。オンライン(同時双方向型) 外部講師による講義を含む。
02JZ021	自然保護教育と環境教育	1	1.0	1-5	秋B	集中		庄子 晶子	自然保護分野における教育活動の意義と展望、具体手法などについて、座学と野外実習により学ぶ。キーワード:環境教育、自然保護教育、インタープリテーション、サイエンスコミュニケーション	2020年度以降の入学者は0A0A014で履修登録し、2019年度以前入学者は02JZ021で履修登録すること。本科目は対面での実施を予定しているが、オンラインでの実施となる可能性もある。0A0A014と同一。外部講師
02JZ022	自然保護セミナー	1	1.0	1-5	春BC秋A 秋BC	随時		佐伯 いく代, 武正憲, 庄子 晶子, 杉原 薫, 飯田 義彦	自然保護にかかわる様々なトピックについて、ゲストスピーカーの講演の聴講、グループディスカッション、エクスカージョン、学生による研究紹介などを通じ、理解を深める。	人文社会学系棟B216室などで開講する。2020年度以降の入学者は0A0A001で履修登録し、2019年度以前入学者は02JZ022で履修登録すること。0A0A001と同一。その他の実施形態
02JZ024	ジオパーク論	1	1.0	1-5	秋B	集中		杉原 薫	ユネスコが支援するジオパークは、地形や地質に関わる自然遺産を中心とした自然公園のひとつである。またジオパークは、それらの自然遺産を保全しながら、観光や教育などの持続的な地域振興につながる様々な活動を推進する仕組みでもある。本科目は、筑波山地域ジオパークを例に、ジオパークの理念や仕組みを学ぶことを目的とする。	2020年度以降の入学者は0A0A006で履修登録し、2019年度以前入学者は02JZ024で履修登録すること。0A0A006と同一。12月4日(土)・5日(日)に実施予定。初日は座学、2日目は野外(筑波山地域ジオパーク)巡検。座学は人社棟B216またはB218、対面式で実施予定。
02JZ025	サイエンティフィック・ジャーナリズム	1	1.0	1-5	秋AB	随時		和田 洋	プロフェッショナルサイエンスライターの直接の指導を受けながら、自然保護寄附講座のイベント報告などを作っていき、文章構成力などを習得します。プロによる直接の添削を受けることで、プロの技を学びます。	教室:人社棟B216 0A0A015と同一。その他の実施形態
02JZ026	自然保護特別講義1(科学と社会のコミュニケーション)	1	1.0	1-5	夏季休業中	集中		武正憲, 早岡 英介	自然番組や科学番組の制作経験のある早岡英介氏による講義	2020年度入学者は0A0A016で履修登録し、2019年度以前入学者は02JZ026で履修登録すること。0A0A016と同一。オンライン授業(オンデマンド型&同時双方向型の併用)

02JZ102	海域フィールド実習	3	2.0	1 - 5	夏季休業中	集中		和田 茂樹, 今孝悦, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	下田臨海実験センターにおける海洋自然体験活動実習。普段の生活の中では、海はその表面しか見ることができない。しかし、海の自然を知り保護していく上で、海の中の生物や環境を詳しく知ることが不可欠である。本実習では、実際に受講生が海の自然を体験し、その中でどのような生物・環境が生態系を構築しているのかを洞察することを目標とする。自然を保護するためには、実際にどのような環境や生物が自然の生態系を形作っているかを知らなければいけない。本実習では、下田臨海実験センターで実際にフィールド調査を実施し、海の生物や環境の複雑	下田臨海実験センター。2020年度入学者は0A0A101で履修登録し、2019年度以前入学者は02JZ102で履修登録すること。0A0A101と同一。本実習は対面で実施する。
02JZ106	Project Practice in Natural Heritage	7	2.0	1・2	夏季休業中	集中		飯田 義彦, 池田 真利子, 吉田 正人	By carrying out field studies at an identified site outside Japan, we shall learn what is actually at stake in identifying with our own eyes the issues and challenges, who are the actors, what are their respective roles, and how consensus-building is made for a chosen solution for the better of balancing heritage conservation and sustainable development.	01EC564と同一。英語で授業。石川県白山市、金沢市など
02JZ107	陸域フィールド実習1	3	1.0	1 - 5	夏季休業中	集中		上條 隆志, 佐伯 いく代	自然保護、特に陸域の生物多様性保全・希少野生生物の保全について学ぶ。実習地は八ヶ岳周辺とする。	筑波山、八ヶ岳演習林0A0A102と同一。
02JZ108	陸域フィールド実習2	3	1.0	1 - 5	秋AB	集中		佐伯 いく代	本実習は、(1)大学近郊の里山を訪ね、身近な自然のもつ特徴を理解する、(2)里山の保全活動をされているNPOの方にお話をうかがい、成果や課題などについて学ぶ、(3)動物センサーカメラを設置し、自ら野生生物のデータを取得・解析して、管理者の方に管理手法の提案をする(グループワーク)、ということを目指します。	自然保護寄附講座サーティフィケートプログラムの履修生のみ受講可能。自然保護寄附講座の履修については、4月上旬に実施される学内での説明会に参加し情報を得ること。2020年度入学者は0A0A103で履修登録し、2019年度以前入学者は02JZ108で履修登録すること。0A0A103と同一。対面 実施日：10月18日(月)、11月15日(月)、12月13日(月)。
02JZ109	保護地域・野生生物管理実習1	2	1.0	1 - 5	夏季休業中	集中		武 正憲	国立公園やエコパークなどの保護地域を訪れ、保護地域管理の実態を体験する。保護地域管理の現場より、実践的な管理理念や手法を体験する。	南アルプス他。2020年度入学者は0A0A104で履修登録し、2019年度以前入学者は02JZ109で履修登録すること。0A0A104と同一。
02JZ201	短期インターンシップ	3	1.0	1 - 5	通年	随時		佐伯 いく代, 飯田 義彦	国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における短期間(のべ10日以上20日未満)のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関するものとする。	1ヶ月未満(10日程度)0A0A201と同一。その他の実施形態
02JZ202	中期インターンシップ	1	2.0	1 - 5	通年	随時		佐伯 いく代, 飯田 義彦	国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における、のべ20日以上40日未満のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関するものとする。	1ヶ月以上、3ヶ月未満(20日程度)0A0A202と同一。その他の実施形態
02JZ203	長期インターンシップ	3	3.0	1 - 5	通年	随時		佐伯 いく代, 飯田 義彦	国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における長期間(のべ40日以上)のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関するものとする。	3ヶ月以上、1年以内(40日程度)0A0A203と同一。その他の実施形態
02JZ204	海外インターンシップ	3	5.0	1 - 5	通年	随時		吉田 正人, 飯田 義彦	自然保護寄附講座開講の趣旨として、国際的な視野を持ち、自然保護の現場で活躍することのできる学生を育てることがあります。国際自然保護連合(IUCN)や国連教育科学文化機関(UNESCO)、生物多様性条約事務局等の海外に事務所をおく国際機関において、一定期間以上、海外に渡航して、インターンシップを行う海外インターンシップに対して、インターンシップ報告書、受け入れ団体の評価に基づいて、標記の単位を与えるとともに、旅費、滞在費の支援を行います。詳細は「インターンシップ制度について」の通りですが、IUCNインターン	6ヶ月(IUCN)0A0A204と同一。英語で授業。
02JZ205	海外自然保護特別研究	6	3.0	1 - 5	通年	随時		吉田 正人, 和田 茂樹, 庄子 晶子	自然保護寄附講座開講の趣旨として、国際的な視野を持ち、自然保護の現場で活躍することのできる学生を育てることがあります。筑波大学と国際交流協定を結んだ大学において、自然保護に関する研究を目的に留学する学生に対して、留学中の授業のみならず、現地の自然保護に関する事例研究を行い報告書を提出することを条件に、標記の単位を与えるとともに、旅費、滞在費の支援を行います。詳細は「海外留学について」の通りですが、オーストラリアのタスマニア大学の場合、毎年2月末から6月はじめにかけて、自然保護地域の管理に関する授業があります	タスマニア大学、ディキンソン大学など提携大学での研究活動など0A0A205と同一。英語で授業。